

わだいの



▲落成式の様子

“カケ”落成式 河浦

崎津の景観をおりなす「カケ」が完成！

4月24日、国の重要文化的景観に選定された崎津地区で、“カケ”の落成式が行われました。

これは、富津地区振興会が、NPO「さいのつ」と共同で文化の保存・継承と観光客へのおもてなしを目的に整備したものです。

“カケ”とは、家の海側にシュロや竹を組んで作られた構造物で、昔から、同地区では船着場や魚の干し場などに利用されている独特の施設です。式典には、関係者など40人が出席し、祝福の祈りの後、同地区振興会の増田哲也会長が「地域の活性化にいかしたい」とあいさつし、完成を祝いました。



▲整備された“カケ”

端午の節句人形展 本渡

勇壮な五月人形などを楽しむ

4月28日から5月5日まで、「端午の節句人形展」が天草宝島国際交流会館ポルトで開かれました。

これは同館が、5月5日の“こどもの日”にあわせて開催しているもので、今回で3回目。会場には、市民から提供のあった五月人形をはじめ、源義経や金太郎などの土人形、折り紙で作ったかぶとなど約100点を展示。期間中は約360人が訪れ、ずらりと並んだ人形などを熱心に鑑賞していました。来場した親子連れは、「かぶとが大きくてすごかった」と話していました。



▲壇飾りの五月人形を見る子ども



▲真剣な表情でジャガイモを詰める参加者

ジャガジャガ祭 天草

特産のジャガイモを求めて！

5月8日、大江のお万ヶ池公園を主会場に「ジャガジャガ祭」が開かれました。これは、同祭実行委員会が開催しているもので、今回で12回目。

メインのジャガイモ掘り取り体験には、家族連れなどたくさんの方が参加し、ひとつでも多くジャガイモを持ち帰ろうと、配られたバケツいっぱいジャガイモを詰める姿が見られました。このほか、いかだレースやグラウンドゴルフ大会などのイベントも催され、約4,000人の人出で大いににぎわいました。

天草東高校体育祭 有明

卒業生や地元住民も参加した最後の体育祭

今年度で閉校する天草東高校（山下照喜校長・全生徒9人）の最後の体育祭が5月8日、同校グラウンドで開かれ、在校生のほか卒業生や地元住民など約500人が参加しました。

同祭では、「ありがとう～38年の感謝を込めて～」を大会スローガンに掲げ、徒競走や長縄跳び、10人11脚のほか、全員参加によるフォークダンスなどを実施。参加者は、それぞれの思いを胸に一生懸命に取り組んでいました。



▲10人11脚の様子



▲参加者全員で記念写真



▲できあがったレシピ集

うまか天草ん家庭料理レシピ集を発行 五和

天草の豊かな“食”を楽しもう！

このほど、五和まちづくり協議会から「うまか天草ん家庭料理レシピ集」が発行されました。これは、今年2月に開催された「うまか天草ん家庭料理大集合」で集まった家庭料理約80品の作り方などを収録したもので、3冊目の発行になります。今回は、天草の新しい特産品として期待されている、オリーブ料理25品を掲載したほか、オリーブオイルソムリエの小暮剛氏による、オリーブ料理の作り方なども掲載されています。購入方法などの詳細は、同協議会事務局（五和支所・総務市民課内）☎01111へ。

浅海ばんかん収穫祭 牛深

特産の晩柑「浅海月」をPR！

4月24日、深海町の旧浅海小学校の校庭で「第1回浅海ばんかん収穫祭」が開かれました。これは、浅海地区のみかん生産者有志でつくる“晩柑の会”が、浅海に浮かぶ月をイメージして名付けた、同地区産の晩柑（みかん）『浅海月』をPRしようと開催したもの。催しでは、晩柑の重量当てや宝探し、グラウンドゴルフなどが行われ多くの来場者でにぎわったほか、浅海月が格安で購入できる販売会も実施。試食した家族は、「とても甘くてみずみずしい」と話し、さっそく箱入りを買って求めていました。



▲浅海月を買い求める来場者